

江戸イメージの 転換と 時代考証

—大河ドラマを中心に—



どなたでも受講できます 事前申込不要(直接会場にお越し下さい)

平成23年 **10月8日(土)** 13:30~15:30
土樋キャンパス8号館5階 押川記念ホール

近年、江戸時代を舞台とする時代劇が変わりつつあります。ヒーローが悪人をバツバツと倒す「勧善懲悪」の「チャンバラ」から、個人が家族、集団、地域、国家などとの関係の中で悩み、成長する「現代劇」への変化ともいえます。そして、この背景には、江戸時代を現代と断絶した時代から、現代と連続した時代へと、とらえ直すイメージの転換があります。江戸時代を遠い理解不可能な時代から、地続きの理解可能な時代ととらえると、現代日本の位置もあらためて見えてきます。

講師
東京学芸大学教授 **大石 学**(おおishi まなぶ)氏



1953年生。筑波大学大学院歴史人類学研究科博士課程単位取得。専攻分野は日本近世史。主要著書として「吉宗と享保の改革」「首都江戸の誕生」「大同忠相」など。NHK大河ドラマ「新撰組」(2004年)・「寛政」(2008年)・「龍馬伝」(2010年)やNHKの多数の時代劇の時代考証を担当。

東北学院大学土樋キャンパス案内図



主催 東北学院大学 東北文化研究所

お問い合わせ 東北学院大学 研究機関事務課

〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1
TEL 022-264-6430 FAX 022-264-6530
E-mail: tobun@staff.tohoku-gakuin.ac.jp